

資料-2 検討会の結果と今後の対応案について



第2回検討会の主な意見と対応

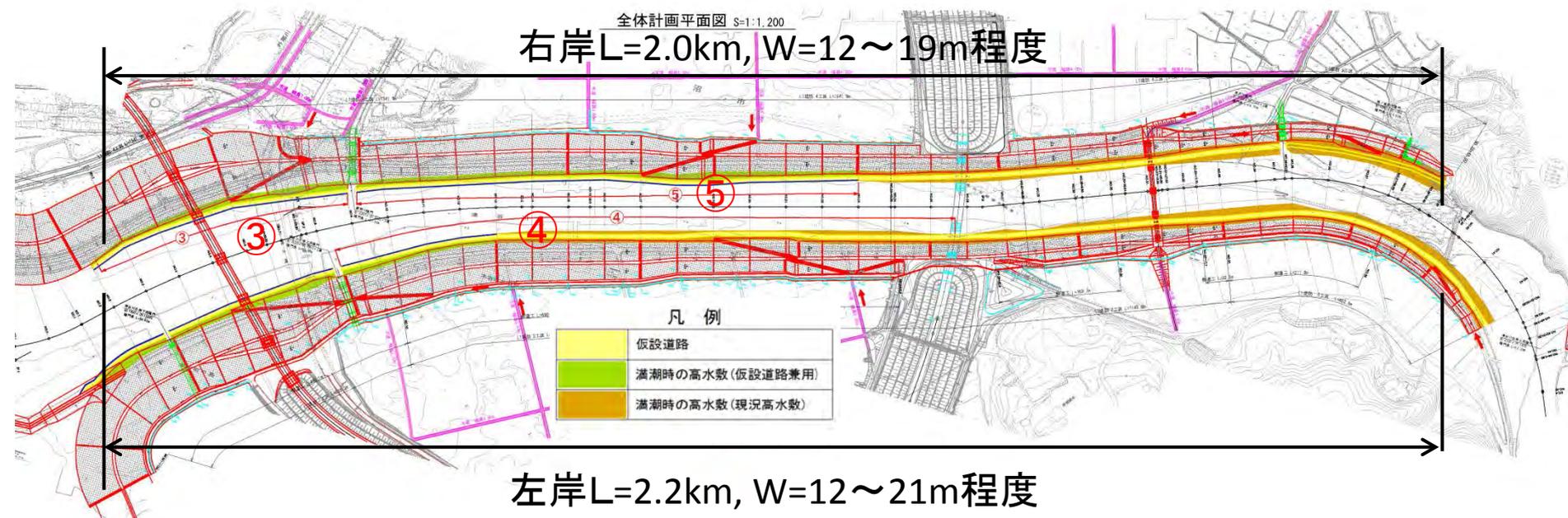
No	テーマ	発言者 (敬称略)	0703有識者検討会 指摘事項	事務局からの返答
1	前回議事の確認	平吹	アドバイザー会議→視察に修正 「失敗している」を「リスクが大きい、コストがかかる」に修正	ご指摘のとおり修正する
2	防潮堤計画	平野	構造物はいかに風景に納めるかが大事。海岸防潮堤のラインは左岸右岸が連続しているように見ると一体感が出る。堤防の基本システムは変える必要は無いと思うが、風景に納めるためには高さ・諸元を少し柔軟に考えた方が良い。	堤防位置については、民地のご協力をいただくことが前提(用地買収)。今の計画は用地協力をいただける中で、いっぱいまで下げている計画となっており、位置は変えにくい都合がある。
3	防潮堤計画	平野	左岸の海岸防潮堤は、後ろに高台があるので、これを利用すると土量が減ると思う。B/Cの問題が話題となっているので、経済性の観点からも工夫が必要。	風景に納めるというご指摘の中で検討するが、地域の方のご意向を伺いながらの対応となるので、この場で即答できない。 今村; 様々な諸条件がある中での検討ということで理解していただきたい。
4	高水敷整備	平野	市民の皆さんに見せる図面は、工事の設計図ではなく、パース図などを使って、出来上がる景色もっとイメージできるような図面づくりをしていただけると良い。	今村; ご意見いただきました。ありがとうございます。
5	高水敷整備	鈴木	現状でもヨシ原が形成されている場所があり、そのような場所は生物の生息場になっている。施工の際には、なるべく現状の良い環境を壊さない工事や位置にするなどの配慮をお願いしたい。	今村; アドバイス。ありがとうございます。
6	高水敷整備	平野	現在複断面で計画されている河道計画を、単断面・低水路護岸を出しての計画に再検討すべきでは。	治水計画上は難しい
7	外尾川河口部の整備	鈴木	広い干潟を残すことで塩性湿地、砂、泥干潟と多様な環境が残りそう。実際の環境がどうなるかについては、事後のモニタリングは必要。その意味で外尾川の河口部の形状は工夫が必要。	外尾川河口右岸側の現在湿地になっている場所を、ゆるやかにすりつけるなどの工夫は可能。

第2回検討会の主な意見と対応

No	テーマ	発言者 (敬称略)	0703有識者検討会 指摘事項	事務局からの返答
8	外尾川河口部の整備	鈴木	保安林で計画されている場所は、現在湿地になっている場所であるので、保安林を造成して本当に上手くいくのか。	保安林の実用性については、WGでも議論があったが、住居に対する塩害の軽減という観点から、従前のようにあった方が良いという結論を得た。 整備に当たっては、盛土したうえで植栽することになる。
9	外尾川河口部の整備	平野	右岸堤防をJRまで引いて、干潟を堤防の外(海側)に出す方法は無いか。堤防に囲まれた干潟・湿地帯というのは景観的に違和感がある。	鈴木; 震災前も整備案のような環境であった。 外側は波が荒く容易に越波するので、干潟の維持が難しい。 高橋; 震災前と同じような形で残そうと地元WGで話が進んでいる。稲作の関係で、地元ではどうしても防潮林が欲しいというもある。
10	外尾川河口部の整備	鈴木	平野先生の案(今の堤防を導流堤という形で残して、防潮堤そのものを後ろに引くような形)が出来ようであれば、干潟の景観としては確かに良くなると思う。	今村; この検討会で基本的なデザインを議論するというのは、検討会のミッションの対象外。
11	海水浴整備	平野	駐車場の周辺の高台の周辺に、窪地・谷ができる。駐車場を少し寄せて縦に長い駐車場にして、窪地が残らないような計画の方が景観的には良い。	気仙沼市さんの事業となる。窪地になる部分は保安林事業の計画もあるので、堤防で窪地が無いように後ろ引くのか、それとも盛り土して保安林と背後の山と一体となった整備をするのか、議論があると思う。
12	海水浴整備	平野	観光客が駐車場に止めた時に、海が見えるような工夫(地盤のかさ上げ)があると良いのでは。堤防を山に寄せて土量が減った分をそちらに回すという作戦はとれないか。	
13	中島海岸・津谷川の事業全体	平野	事業のできあがり想定で、こんな景色ができるんだということを市民の皆様に見せながら検討するのが基本だと思う。	航空写真でイメージパースをつくるように工夫してみる。
14	中島海岸・津谷川の事業全体	平野	バック堤の形状も含めて、この地域の模型(スタディー模型)を造って欲しい。模型で議論すると「イメージが違う」と言われることも防げる。	今村; ご要望としていただきました。 今村; 提示している計画資料は、前回の第1回にも提示したものであり、ご意見はごもっともではあるが、この場での審議は難しい。ご指摘をまとめていただければ、事務局再度で検討できるところ、できないところの仕分けはできる。

1. 高水敷整備方針（案）

震災前の利用形態を確保するため、工事中仮設道路を存置し、全体で右岸約2.0km、左岸約2.2kmの連続した高水敷を形成する。



検討会意見を踏まえた配慮事項

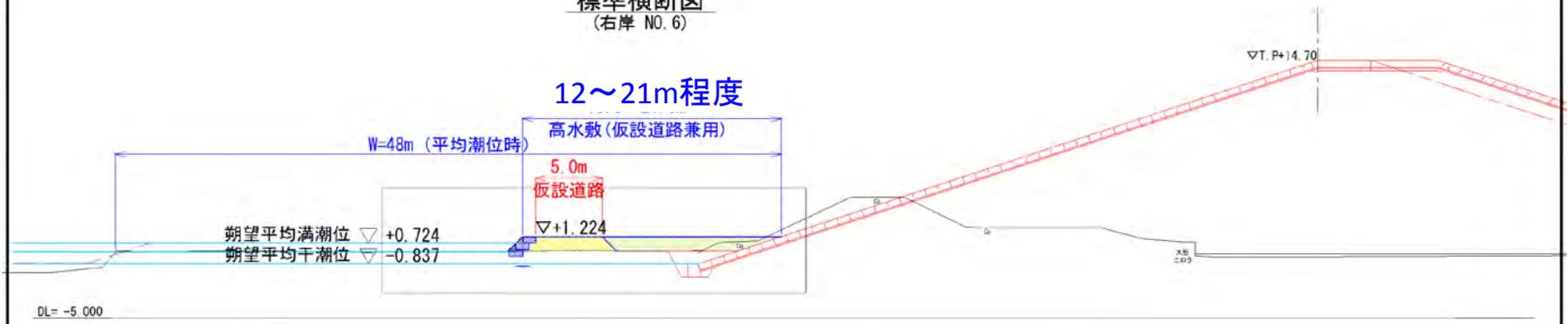
- ・仮設道路の設置に当たっては、施工時に希少種等の移植・保存に配慮。

1. 高水敷整備方針（案）右岸高水敷③ 標準断面図（参考）

高水敷③標準横断面図 S=1:150
(右岸 NO. 6)

標準横断面図
(右岸 NO. 6)

12~21m程度



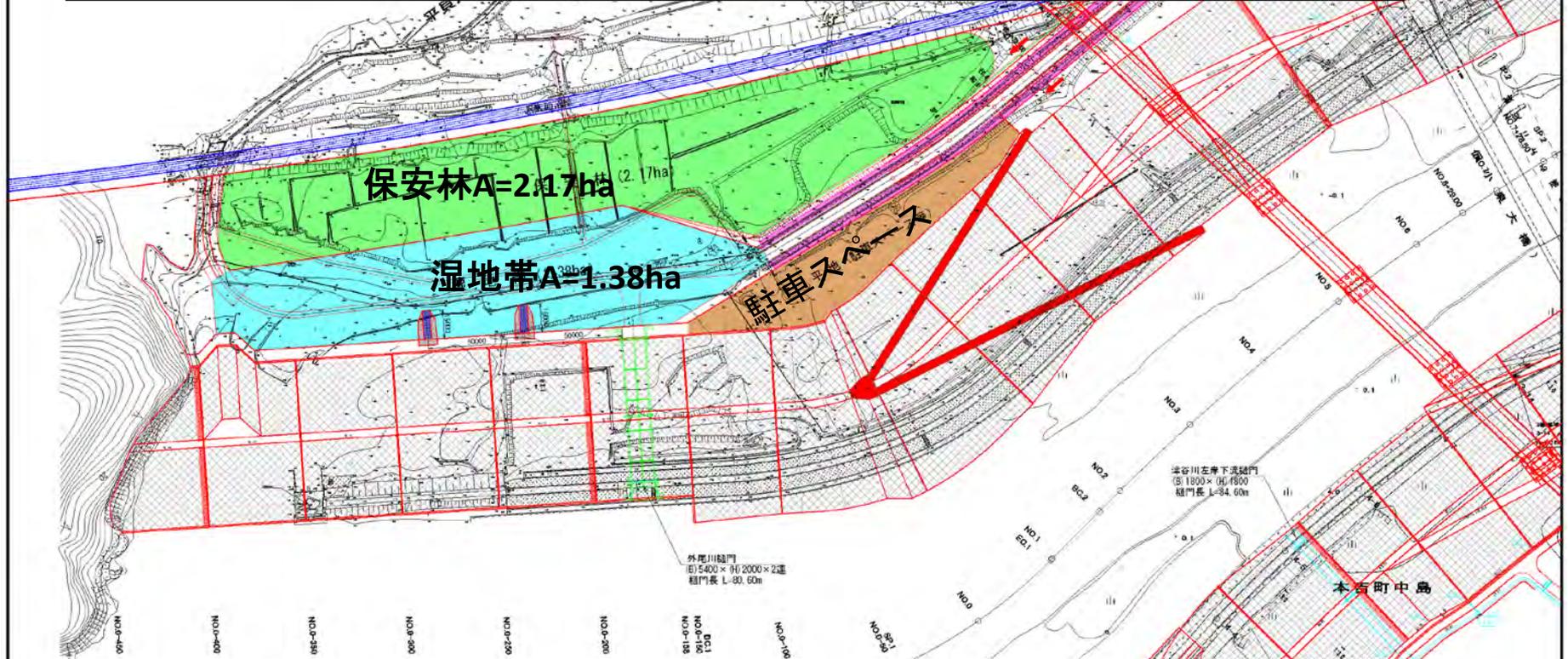
拡大図



平成 23 年度	尾津駅 号
河川名	二級河川 津谷川
施工地名	釜谷河川本流町中島地内
工事名	津谷川災害調査設計業務
高水敷③標準横断面図(右岸 NO. 6)	
紙尺	1:150 全 業の内 業
	設計 製図
監 査	製 図

2. 外尾川河口部整備方針（案）平面図

津谷川とJRの間を利用し、湿地帯及び保安林を整備し、震災前の環境に近づける。
 ※土砂の定期的な維持浚渫のため、捨石突堤も整備する。



検討会意見を踏まえた配慮事項

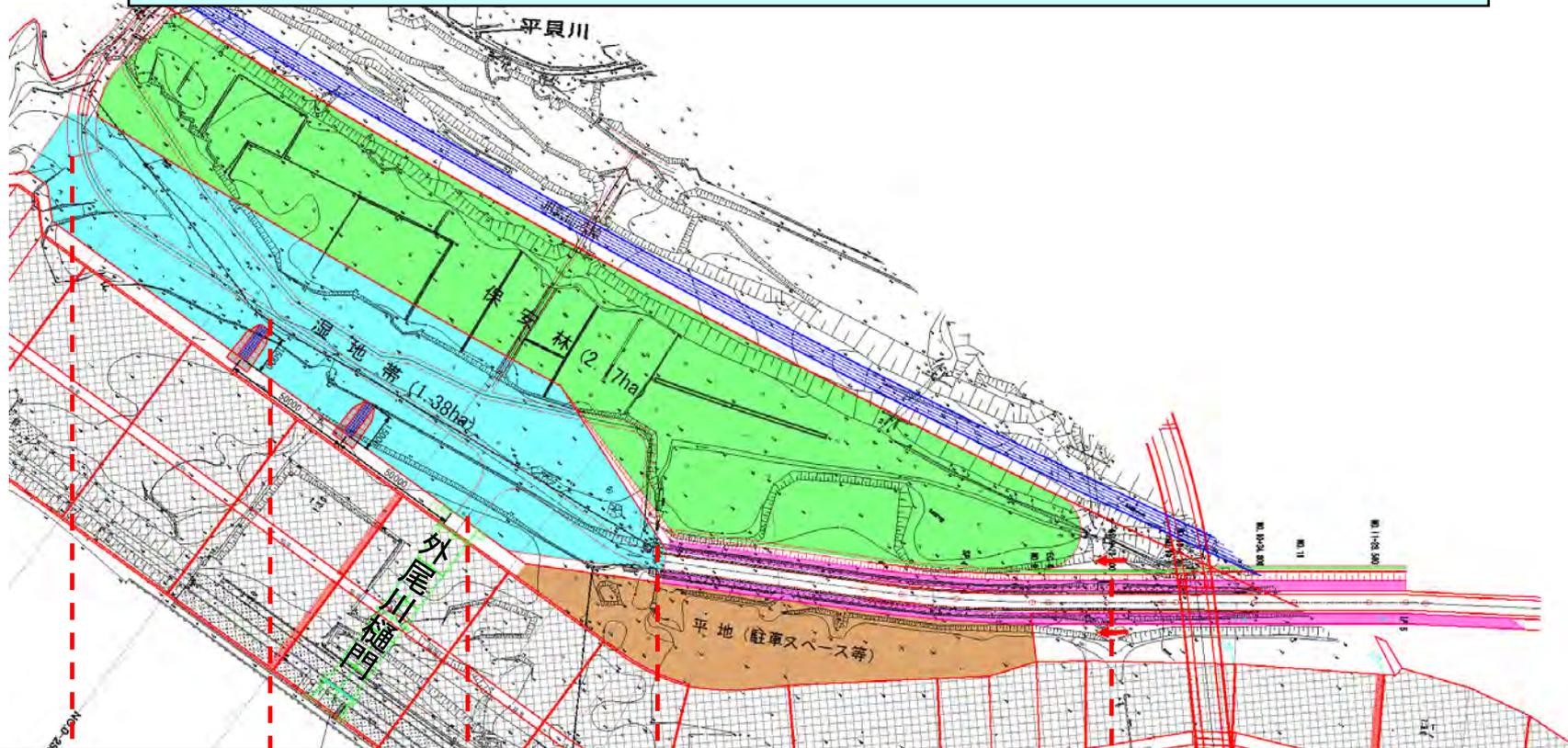
- ・外尾川の河口部については、湿地帯と緩やかに取り付けする形状とする。
- ・整備後のモニタリングを実施。

導流堤工 L=330m

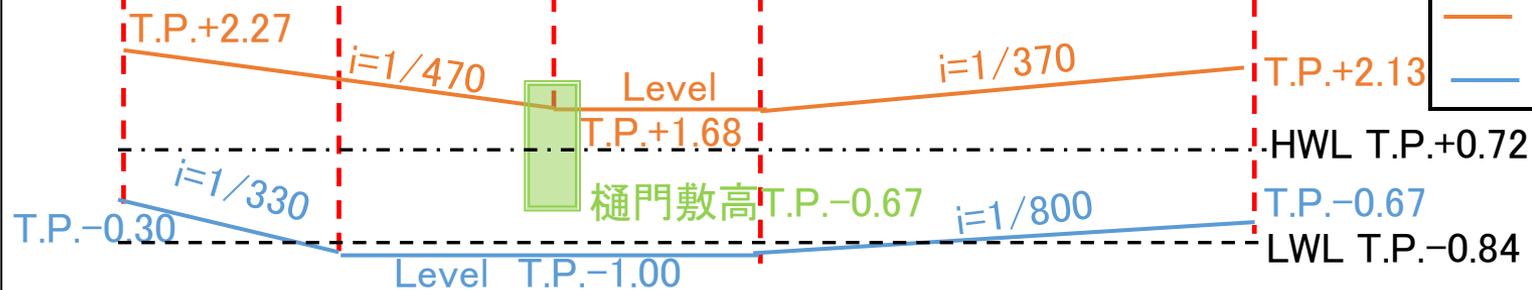
年度	年度	年度	年度	年度
平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
河川名	二級河川	津谷川		
施工地名	島山町内本町中島地区内			
工事名	津谷川災害調査設計業務			
計画年度(1/4)				
縮尺	1:1000	全12張の内1張		
	設計	監理		
	審	城	景	

2. 外尾川河口部 外尾川、平貝川の縦断計画（参考）

河口部湿地整備に伴い、外尾川縦断計画(河床勾配)の見直しを行った。



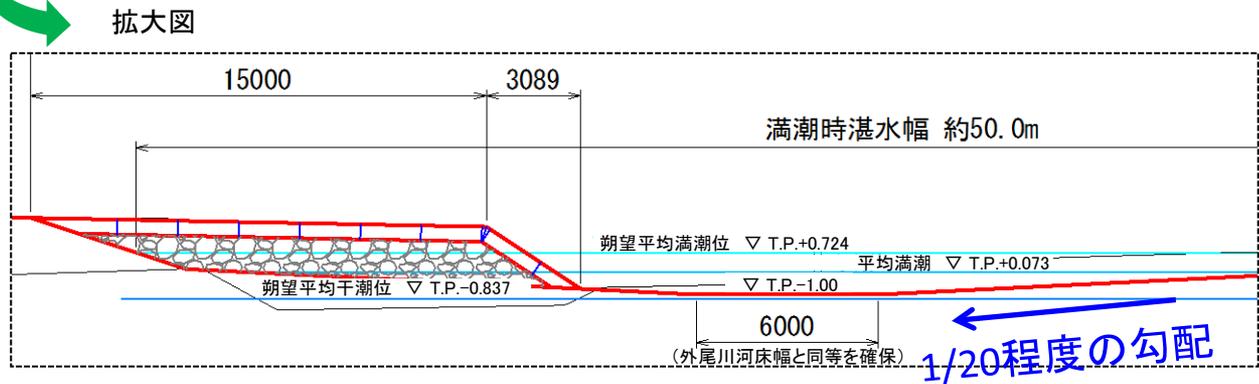
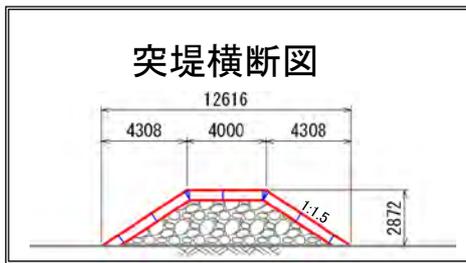
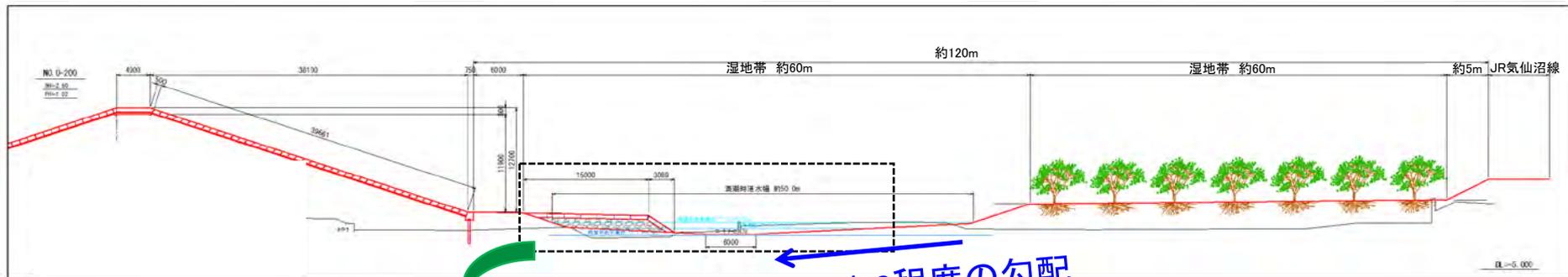
計画縦断図



凡例

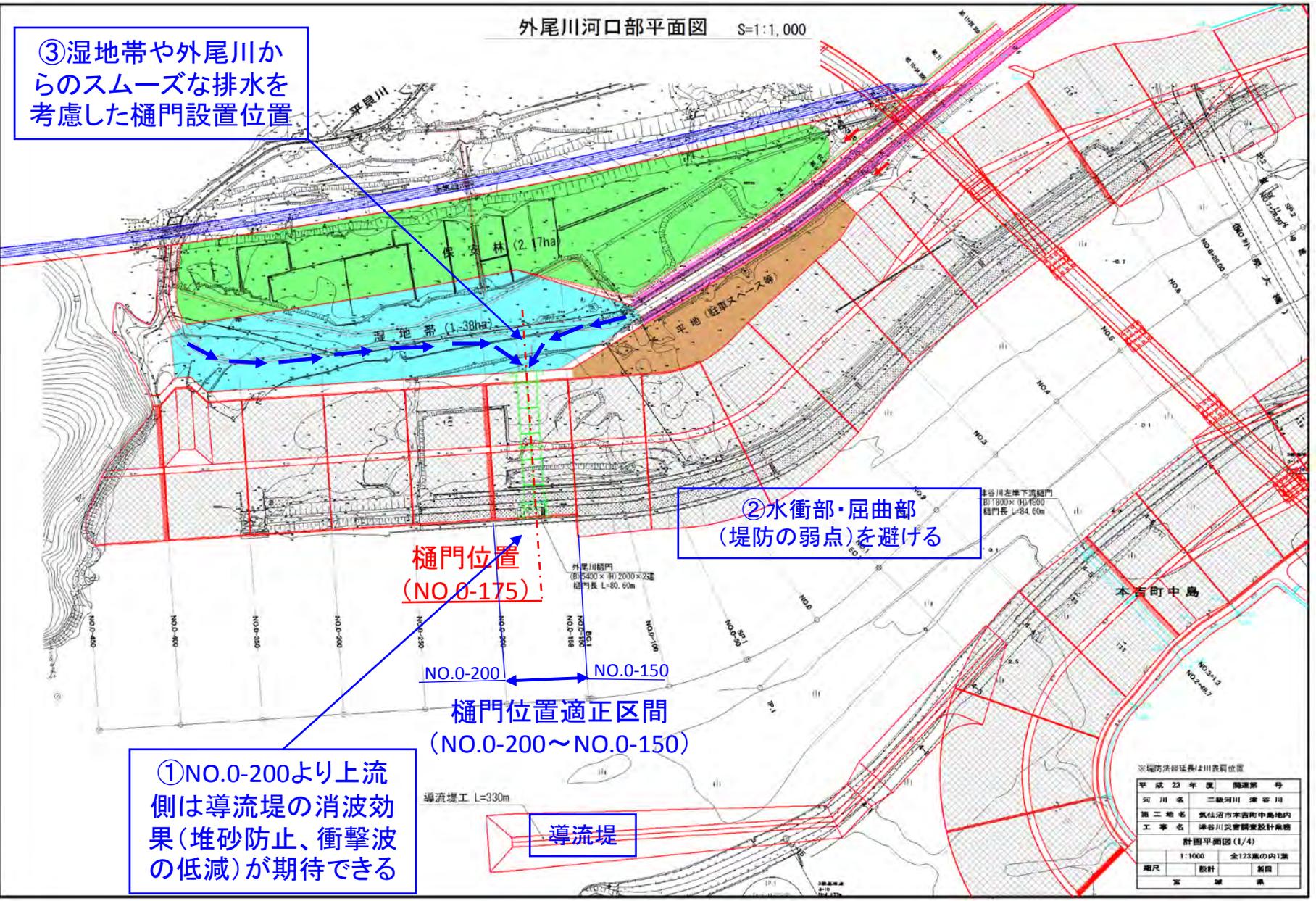
- : 計画堤防高
- : 計画河床高

2. 外尾川河口部整備方針案 断面図（参考）



湿地帯の河床高は外尾川、平貝川の河床高より低く設定 (T.P.-1.0m)
 最深部から保安林側に1/20程度の勾配で緩やかに掘削
 土砂流出が多いとの地元意見を受け、土砂止めとして突堤を追加

2. 外尾川河口部 樋門位置の選定 (参考)



外尾川河口部平面図 S=1:1,000

③湿地帯や外尾川からのスムーズな排水を考慮した樋門設置位置

②水衝部・屈曲部 (堤防の弱点)を避ける

①NO.0-200より上流側は導流堤の消波効果(堆砂防止、衝撃波の低減)が期待できる

樋門位置 (NO.0-175)

NO.0-200 ← NO.0-150
樋門位置適正区間 (NO.0-200 ~ NO.0-150)

導流堤

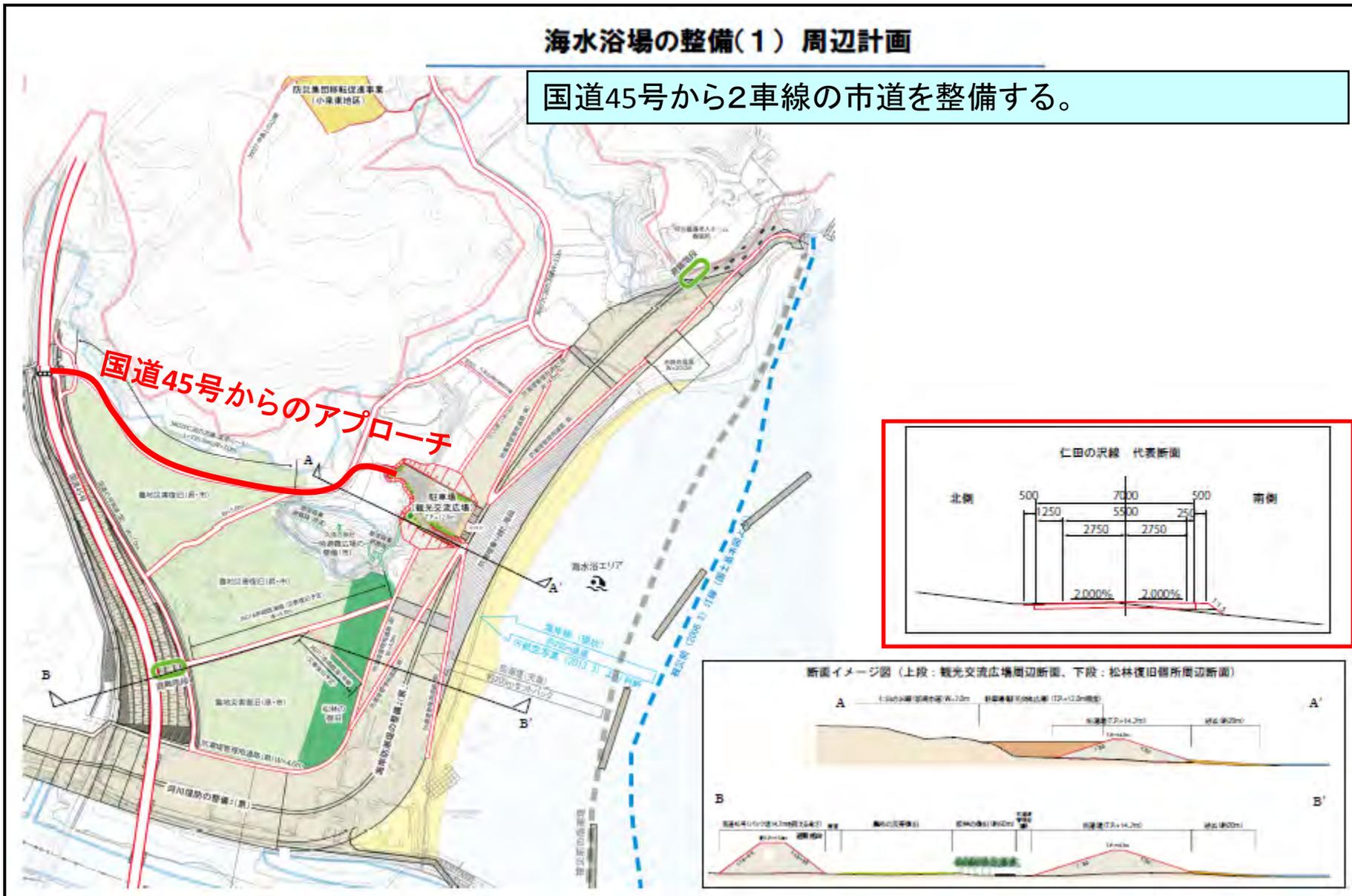
※編防法経延長は川表間位置

平成 23 年度	編 制 部 号
河 川 名	二級河川 津谷川
施 工 地 名	気仙沼市本吉町中島地内
工 事 名	津谷川災害調査設計業務
計 画 平 面 図 (1/4)	
1:1000	全123葉の内1葉
縮 尺	設 計
案 内	審 査

3. 海水浴場施設 整備方針（案） 周辺道路

海水浴場の整備(1) 周辺計画

国道45号から2車線の市道を整備する。



3. 海水浴場施設 整備方針（案） 施設配置

海水浴場の整備(2) 駐車場(交流広場)構想図

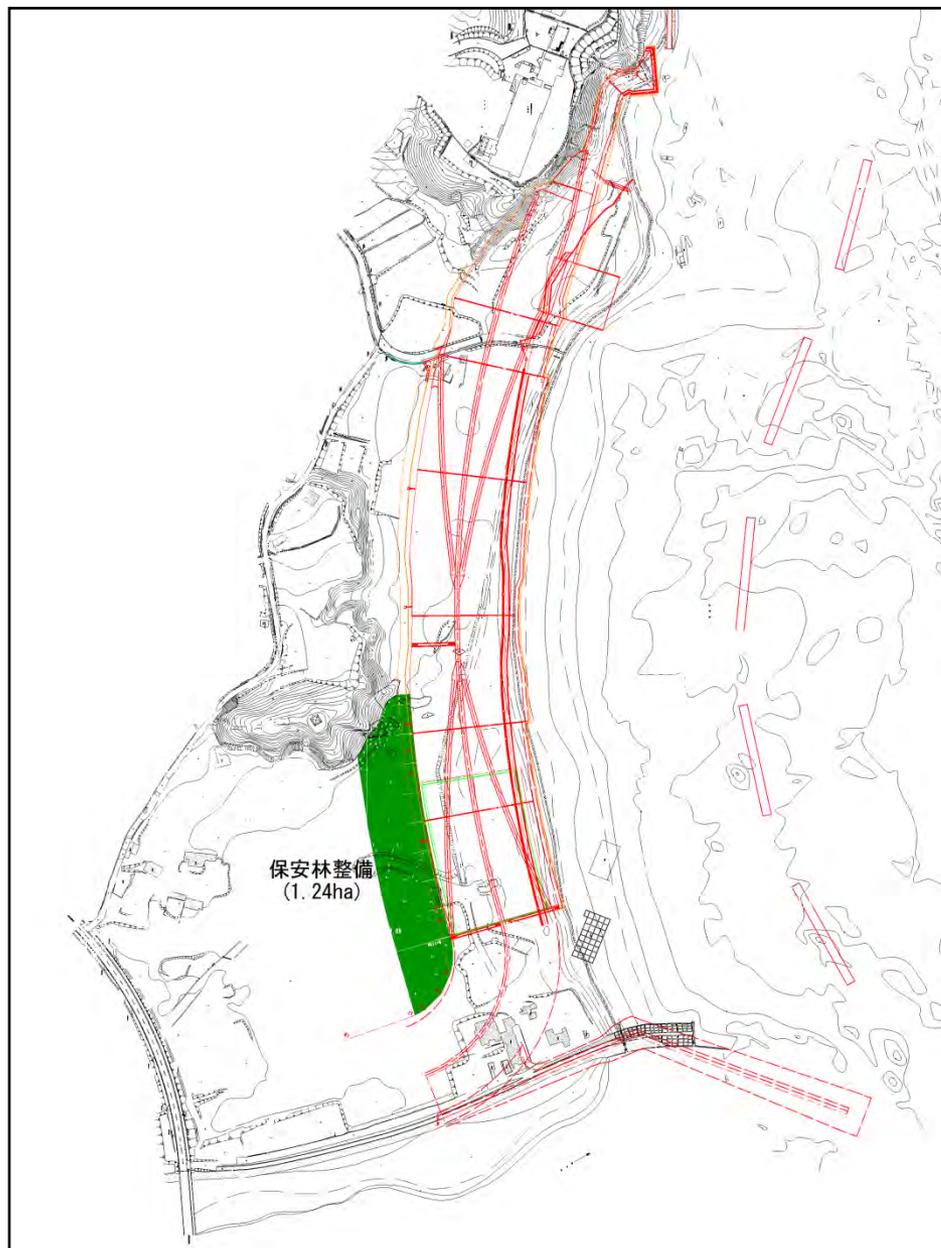
被災前と同規模(約70台)の駐車場、トイレ等を整備する。



検討会意見を踏まえた配慮事項

- ・窪地を少なくし、背後の地形と一体となった景観形成を検討。
- ・駐車場から海が見えるような高さについて検討。

4. 保安林整備方針（案）

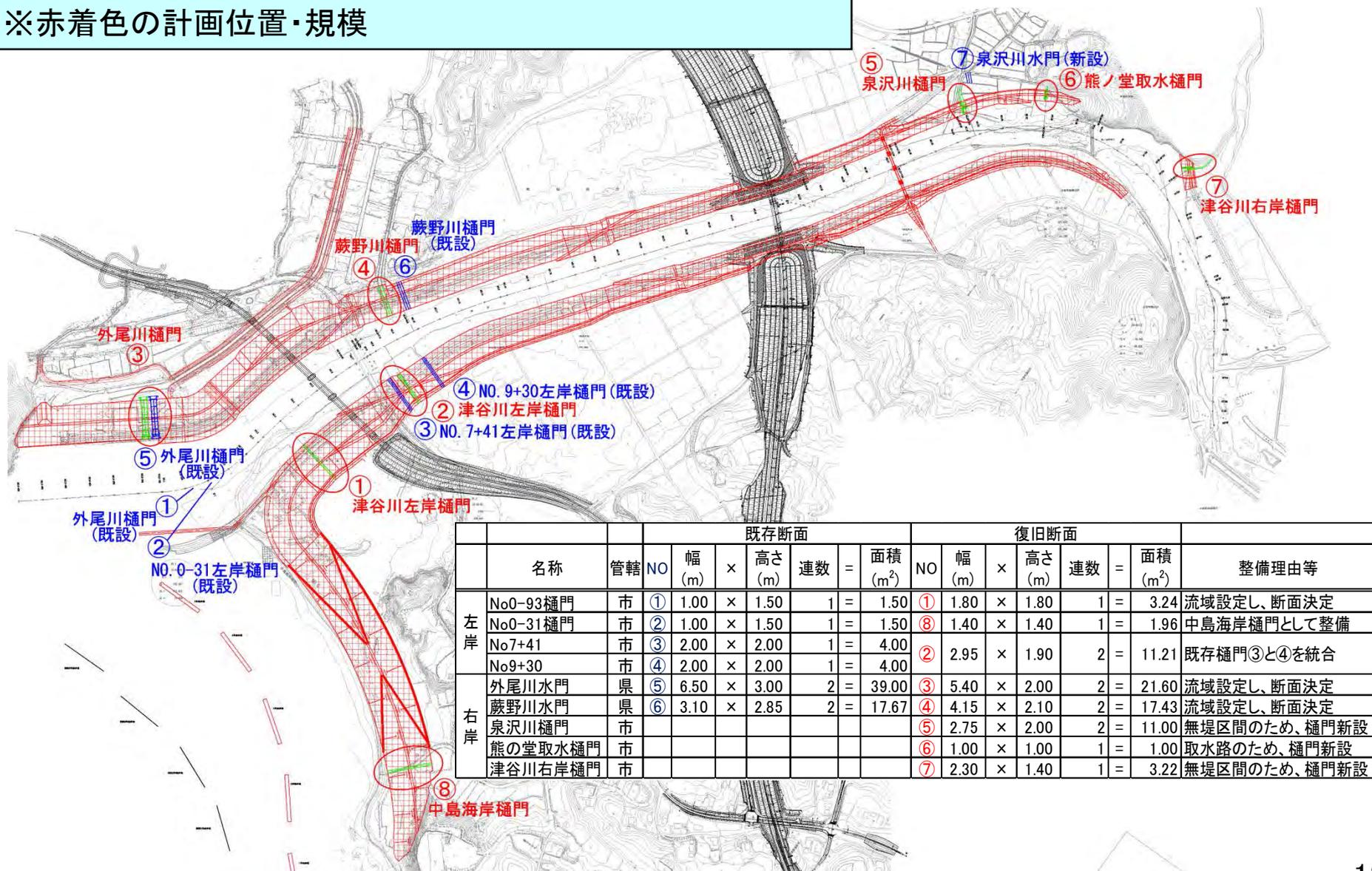


保安林については、林帯幅約50mとし、地下水の影響を受けないよう2.4m程度盛土を行う。

※事業計画については未確定であるため、現時点における方針案を記載。

5. 排水に関する整備方針（案）

排水については、降雨時に支障が出ないように復旧断面を設定
 ※赤着色の計画位置・規模



	名称	管轄	既存断面				復旧断面				整備理由等		
			NO	幅 (m)	高さ (m)	連数	面積 (m ²)	NO	幅 (m)	高さ (m)		連数	面積 (m ²)
左岸	No0-93樋門	市	①	1.00	× 1.50	1	= 1.50	①	1.80	× 1.80	1	= 3.24	流域設定し、断面決定
	No0-31樋門	市	②	1.00	× 1.50	1	= 1.50	⑧	1.40	× 1.40	1	= 1.96	中島海岸樋門として整備
	No7+41	市	③	2.00	× 2.00	1	= 4.00	②	2.95	× 1.90	2	= 11.21	既存樋門③と④を統合
	No9+30	市	④	2.00	× 2.00	1	= 4.00						
右岸	外尾川水門	県	⑤	6.50	× 3.00	2	= 39.00	③	5.40	× 2.00	2	= 21.60	流域設定し、断面決定
	蕨野川水門	県	⑥	3.10	× 2.85	2	= 17.67	④	4.15	× 2.10	2	= 17.43	流域設定し、断面決定
	泉沢川樋門	市						⑤	2.75	× 2.00	2	= 11.00	無堤区間のため、樋門新設
	熊の堂取水樋門	市						⑥	1.00	× 1.00	1	= 1.00	取水路のため、樋門新設
	津谷川右岸樋門	市						⑦	2.30	× 1.40	1	= 3.22	無堤区間のため、樋門新設

